

学習指導要領		都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
(1) 世界史へのいざない ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。 イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。	・自然環境が人類の活動に与えた影響や、人類が自然環境に積極的に働きかけた例を確認し、世界史学習において地理的視点が重要であることに気づく。  ・日本列島と世界との間に見られる世界との関係や交流に関する歴史的事例について確認し、日本の歴史と世界の歴史のつながりに気づく。	
		(2) 世界の一体化と日本 ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海・陸における交流を概観させる。

学習指導要領	都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>(3) 地球社会と日本</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパ進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>ア 急変する人類社会 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンスや宗教改革の動きとともにスペインやポルトガルによって海外進出が始まったことを知る。</li> <li>・ヨーロッパ各国で絶対王政が展開され、主権国家体制が確立したことを知る。</li> <li>・オスマン帝国や明・清などアジアの帝国の様子について知る。</li> <li>・ヨーロッパ・アフリカ・アメリカの間で大西洋三角貿易が展開されたことを知る。</li> <li>・鉄砲伝来や出島での交流などヨーロッパやアジアと日本との接点を知る。</li> </ul> <p>[産業革命と資本主義の確立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリスの繊維部門における技術革新から産業革命が起こり、工業化や資本主義の確立が進んだことを知る。また、それらに伴う労働や社会生活の変化により自由主義や社会主義の思想が発達したことを知る。</li> </ul> <p>[フランス革命とアメリカ諸国の独立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカ独立革命やフランス革命を通じて、西ヨーロッパとアメリカに近代民主主義の基礎が成立したことを知る。</li> </ul> <p>[自由主義と国民主義の進展]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーン体制下で自由主義や国民主義が高まり、ヨーロッパ各国で国民国家の形成の動きが見られたことを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア諸国において国内の支配体制の動揺やヨーロッパ諸国の進出により衰退が見られたことを知る。</li> <li>・アジア諸国で植民地化が進み、伝統文化の変容や近代化への動きが見られたこと、日本が開国から明治維新を経て近代化を進めた流れをつかむ。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀後期からの科学技術の発達により工業化が進み、産業構造の変化と企業の巨大化が促されるとともに、公教育が普及し、国民統合の進展につながったことについて知る。</li> <li>・人・物・情報の伝達速度が高まり、ヨーロッパから南北アメリカ・オセアニアへの移住が見られたこと、マスメディアが発達し社会の大衆化が見られたことを知る。</li> </ul>

学習指導要領	都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>イ 世界戦争と平和            帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向            第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国が工業製品や資本の輸出先を求めてアジアやアフリカで植民地化を進めたことや、それに対して各地で民族意識の高まりに伴う様々な運動が展開されたことを知る。</li> <li>・第一次世界大戦の開戦に至る経緯を大まかにつかむとともに、総力戦という性格を持っていたことを知る。また、同じ頃ロシア革命が起こり、ソヴィエト連邦が成立したことを知る。</li> <li>・国際連盟やヴェルサイユ体制などの成立、アジアでの民族運動の高揚など、第一次世界大戦後の国際情勢について知る。</li> <li>・アメリカで始まった世界恐慌について、各国の対応とファシズムの台頭、及び東アジアでの日本の動向を知り、第二次世界大戦に至った大まかな流れをつかむ。</li> <li>・第二次世界大戦の特徴や、大戦中から戦後秩序が構想されていたことを知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連合の成立過程やしくみについて国際連盟との違いを知る。</li> <li>・第二次世界大戦中に協力関係にあった米ソが対立するようになり、冷戦に発展したことを知る。</li> <li>・米ソ両陣営が核兵器の力を背景に各陣営を強化し、朝鮮戦争などヨーロッパ以外にも影響が広がったことを知る。</li> <li>・民族独立運動がアジアからアフリカへと広がりを見せ、1960年代に植民地の大半が独立したことを知る。</li> <li>・第三世界として発言力を増したアジア・アフリカが植民地支配の撤廃に大きく貢献した一方で、経済的な問題を抱えている国が多いことを知る。</li> <li>・ヴェトナム戦争などを通じて米ソ冷戦の構造が変化したことを知る。</li> </ul>

学習指導要領	都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1970年代の変動相場制への移行や2度にわたる石油危機が欧米諸国や日本に大きな影響を与えたことを知る。</li> <li>・1980年代以降、先進工業国が途上国への工場移転など産業構造の転換を図り、中国などのアジア諸国は欧米や日本などから技術や資本を導入して工業化を進めたことを知る。</li> <li>・ソ連の経済の低迷を背景とする米ソの接近が起こり、東西冷戦が収束に向かい、社会主義体制が崩壊し、ソヴィエト連邦が崩壊したことを知る。</li> <li>・国際経済の連携の動きが高まる中で、EUやASEANなどの地域統合の動きが見られることを代表例を中心に知る。</li> <li>・現代世界の特質や課題に関して設定された主題について資料を用いて探求し、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について自分の意見を述べるができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
(1) 私たち時代の歴史	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<p>社会的、地域的事象、現代の課題などを追究し、近現代に関わる歴史的事象と現在との結び付きについての基礎的・基本的な知識技能を身につけるとともに、歴史への興味関心を高め、歴史を学ぶ意義を知る。</p>
(2) 近代の日本と世界	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や分化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p> <p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p>	<p>[近代の萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米で資本主義経済を特質とする近代国家が成立し、植民地を求めてアジアに進出したことを知る。</li> <li>・手工業の発展、新しい思想や学問の登場、寺子屋などの教育機関の発達を知るとともに、これらが日本の近代化の基盤になったことについてもあわせて知る。</li> </ul> <p>[開国から幕府の滅亡]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカからの要求を契機として、江戸幕府が開国したことを知る。</li> <li>・不平等な内容であった日米修好通商条約の締結によって、日本が欧米の市場として開かれたことを知る。</li> <li>・尊皇攘夷派と公武合体派の対立があったことを知る。</li> </ul> <p>[明治初期の諸改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治新政府が行った、富国強兵、殖産興業政策の下で行われた、廃藩置県、学制、徴兵令、地租改正などの諸改革の内容を知る。</li> <li>・文明開化が人々の生活に与えた影響と変化を知る。</li> </ul> <p>[明治初期の外交]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清国と日清修好条規、朝鮮と日朝修好条規が締結されたことを知る。</li> <li>・条約の内容から日本の外交方針を知る。</li> <li>・東アジア地域において領土の画定が進められていったことを知り、領土問題についても関心を持つ。</li> </ul> <p>[自由民権運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不平士族の反乱から自由民権運動につながる過程について関心を持ち、その内容を知る。</li> <li>・士族、農民など、様々な人々に政治的関心が高まったことを知る。</li> </ul> <p>[立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法の制定により、欧米諸国以外で初めて立憲体制が整えられたことを知る。</li> <li>・刑法や民法など諸法典が整備されたことを知る。</li> </ul> <p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府が行った欧米諸国との不平等条約改正に関する交渉の過程を知り、当時の外交課題について関心を持つ。</li> </ul>

学習指導要領	都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>(ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p>	<p>〔日清・日露戦争と国際関係〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝鮮に対する支配権をめぐる日本と清国との対立から、日清戦争が始まるまでの流れを知る。</li> <li>・下関条約の内容を知る。</li> <li>・三国干渉が日本に与えた影響と、その後の東アジアの状況の変化について知る。</li> <li>・日本とロシアの朝鮮や満州の権益をめぐる対立から、日露戦争に至った経緯を知る。</li> <li>・ポーツマス条約の内容を知り、その後の日本の反応について関心を持つ。</li> <li>・日清・日露戦争を通じて日本は国際的地位を高め、東アジアでの勢力を拡大させたことを知る。</li> <li>・韓国併合にいたる朝鮮と日本の関係を知る。</li> </ul> <p>〔政党政治の展開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次護憲運動、米騒動、原敬内閣の成立などにより、本格的な政党内閣が組織されたことを知る。</li> <li>・第一次世界大戦を経て物価の高騰や戦後恐慌などがおこり、社会運動や労働運動などが増加したことを知る。</li> <li>・第二次護憲運動を経て護憲三派内閣が成立し、二大政党制が始まったことを知る。</li> <li>・普通選挙法とともに治安維持法が成立したことを知るとともに、その成立の意味について関心を持つ。</li> </ul> <p>〔産業革命の進展と資本主義の発展〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の産業革命は、紡績業や製糸業を中心とする軽工業から始まったことに加え、公害問題や労働運動が発生し、社会運動が起こったことを知る。</li> <li>・日本の産業革命における重工業の発展は、日清・日露戦争による軍需によることを知る。</li> </ul> <p>〔国民生活の変化〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業化の進展など、産業構造の変化により農村から都市へ大規模な人口移動が起きたことを知る。</li> <li>・日露戦後から昭和初期にかけて、「大正デモクラシー」という風潮のなかで、学問や文化の進展や社会運動がおこるなど、様々な思想が浸透したことを知る。</li> </ul> <p>〔第一次世界大戦前後の国内外の動向〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦において、日本が連合国として参戦したことを知るとともに、大陸への勢力拡張の理由とその対外的な影響について関心をもつ。</li> <li>・パリ講和会議とワシントン会議及び幣原外交について知るとともに、国際的な協調体制が構築されたことに関心を持つ、また、五・</li> </ul>

学習指導要領		都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>現代の日本と世界</p>	<p>ウ 近代の追究</p> <p>近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p>	<p>四運動、三・一独立運動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大戦景気と社会・産業構造の変化について知る。</li> </ul> <p>[戦間期の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦後恐慌、震災恐慌、金融恐慌、世界恐慌、昭和恐慌など、日本や世界で続けて恐慌が発生したことによる影響について知るとともに、各国の対応について関心を持つ。</li> <li>国家主義思想の影響や軍部の台頭によって、五・一五事件や二・二六事件などが起こったことを知るとともに、その要因について関心をもつ。</li> </ul> <p>[第二次世界大戦前後の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日中戦争が長期化する中で、国内では大政翼賛会が発足して全体主義的な国家体制が構築されたことを知る。</li> </ul> <p>近代日本が形成される過程について、政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向などのかかわりについて知るとともに、その内容について自分の意見を持つ。</p>
	<p>(3) ア 現代日本の政治と国際社会</p> <p>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>[我が国の再出発]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦後、日本がアメリカ軍を中心とした連合国軍の占領下に置かれていた点、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ／SCAP）が日本の非軍事化と民主化を目的に間接統治を実施した点を知る。</li> <li>戦後の民主化を推進のため、五大改革が行われたことについて、その概要を知る。</li> <li>GHQ草案を基に新たに制定された日本国憲法について、大日本帝国憲法との違いに関心を持つとともに、三大原理について知る。</li> <li>戦後の混乱の中で、民主選挙の実施とともに、我が国における政党政治が復活したことや、様々な社会運動が行われたことを知るとともに、戦後の民主化について関心を持つ。</li> </ul> <p>[冷戦の開始と講和]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>連合国を中心に国際連合（国連）が結成される一方、アメリカを中心とする西側陣営とソ連を中心とする東側陣営の対立（冷戦）が始まり、世界が東西対立に巻き込まれたことを知るとともに、この対立がアジア各国に与えた影響について関心を持つ。</li> <li>東アジア情勢の変化の中でアメリカの対日占領政策が早期の経済</li> </ul>

学習指導要領	都立桐ヶ丘高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探究</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p> <p>内容の(2)のウ及び(3)のウについては、資料を活用して歴史を考察したりその結果を表現したりその結果を表現したりする技能を高めること。</p>	<p>復興実現へと変化したことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝鮮戦争の開始が日本の政治・経済に大きな影響を与えたことを知る。</li> <li>・サンフランシスコ平和条約が調印され、日本が独立を回復したことや、同条約調印と同じ日に、日米安全保障条約が調印されたことを知る。</li> <li>・琉球諸島、小笠原諸島、奄美諸島は、サンフランシスコ平和条約締結後もアメリカの施政権下に置かれたことを知るとともに、沖縄での祖国復帰運動について関心を持つ。</li> </ul> <p>[政治や対外関係の推移]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の戦後の政治状況について、保守一党優位の政治体制(55年体制)が約40年続いたことを知る。</li> <li>・我が国の独立後の外交政策について知るとともに、国内政治への影響について関心をもつ。</li> <li>・冷戦の終結とともに、国際社会から我が国に求められるようになった国際貢献の概要について知る。</li> </ul> <p>[日本経済の発展と国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国が戦後の経済復興を成し遂げ、高度経済成長、石油危機を経て世界有数の経済大国となったことについて知るとともに、その過程において、社会構造が変化したことや、公害などの社会問題が発生したことを知る。</li> <li>・二度の石油危機を経て、高度経済成長が終焉し、日本経済が安定成長の時代に入ったことについて知るとともに、国際協調を重視した経済政策が実施されるようになった点に関心を持つ。</li> </ul> <p>現代の日本社会が直面する身近な社会的事象や、地域の事象、現代の課題などについて、様々な資料等を活用して、自分の意見を述べることができる。</p>